

平成22年

第3回防府市議会定例会

一般質問

7月 1日 (5人)

山田 耕治 ・ 伊藤 央 ・ 今津 誠一 ・ 齊藤 旭
藤本 和久

7月 2日 (5人)

大田 雄二郎 ・ 田中 敏靖 ・ 高砂 朋子 ・ 山根 祐二
原田 洋介

7月 5日 (4人)

木村 一彦 ・ 重川 恭年 ・ 中林 堅造 ・ 山本 久江

7月 6日 (4人)

土井 章 ・ 三原 昭治 ・ 田中 健次 ・ 山下 和明

No.	1	山田 耕治	
質 問 事 項			要 旨
	1. 防府市の安全・安心な道路行政について		<p>(1) 今後の計画の中で、どのような安全・安心な道路環境にすべきとお考えなのか。防府市全体の計画が、市民の皆さんを巻き込んだ戦略や計画になっているのか。</p> <p>(2) 道路の維持管理という点から、道路パトロール等で、道路状況を把握し、パトロール中に発見した損傷箇所等の補修等がどれくらいあるのか。また、市職員の皆様からの破損箇所や危険箇所等の情報があがったことがあるのか。巡回の形態や頻度、実施方法などはどのように行われているのか。</p> <p>(3) 道路相談・交通安全運動の推進・また、交通安全の総合的な戦略計画も含めた（仮称）交通安全対策課を設置し、窓口業務も含め対応出来ないか。</p>

No.	2	伊藤 央	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 市長の公約について</p> <p>2. 教育について</p> <p>3. インターネット環境について</p>	<p>(1) 先の市長選に掲げた公約について、実施スケジュールと所要額、財源を示されよ。</p> <p>(1) 道徳観を養い、日本語をはっきりと発音できる子供を育てるために、小中学校で「論語」の素読を取り入れてはどうか。</p> <p>(2) 小中学校では、漢字に慣れ親しむプログラムの実施をしてはどうか。</p> <p>(3) PTA の在り方について</p> <p>(1) 公共スペースでの公衆無線 LAN サービスを導入してはどうか。</p>		

No.	3	今津 誠一	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 松浦市政四期目の課題</p> <p>2. 行財政改革</p> <p>3. 教育</p> <p>4. 観光</p> <p>5. 梅一万本植栽計画</p>	<p>(1) 市長は、過去三期12年の松浦市政を総括され、欠けていた政策等はなかったか検討したうえで、四期目の政策課題を示して頂きたい。</p> <p>(1) ゼロ予算事業</p> <p>(2) 行政経営品質による行政改革の進捗状況</p> <p>(3) アンテナ職員の配置の実施状況</p> <p>(4) 協働の推進体制</p> <p>(5) 行革推進担当官の新設・設置</p> <p>(6) 部長マニフェストの作成とその公表</p> <p>(1) 教委所管事務の市長部局への移管</p> <p>(2) 「地域の子どもは地域が責任を持って育てる教育システム」の構築の進捗状況</p> <p>(3) 郷土史教育</p> <p>(4) 教員OB等の学習ボランティア</p> <p>(1) 県の「年間観光客3千万人構想実現アクション・プラン」と連携した観光政策</p> <p>(2) 観光客誘致の数値目標の設定</p> <p>(3) 天満宮梅まつりの盛大化による観光客の誘客</p> <p>(1) 梅の記念樹植栽の申込料は桜と同額に</p> <p>(2) 小学校入学児童に梅の苗木の贈呈</p>		

No.	4	齊藤 旭		
質 問 事 項			要 旨	
	<p>1. 松浦市長四期目の公約について</p>		<p>(1) 議員定数半減について</p> <p>①議員削減による財源の活用方法</p> <p>1. コミュニティバスの実現</p> <p>②議員削減のデメリット</p> <p>1. 市民の声が市政に反映できるか</p> <p>2. 行政への監視機能は</p> <p>3. 市民100人委員会について</p> <p>(2) 市長給与半減と退職金の全廃について</p> <p>(3) 単独市政の確立</p> <p>①地元産業の振興</p> <p>②適正人事</p>	

No.	5	藤本 和久	
質 問 事 項			要 旨
1. 市政運営について			<p>(1) 選挙公約について</p> <p>①市議会議員定数の半減 松浦市長は、聖域なき行政改革を旗印にさまざまな行政改革を断行し、顕著な実績を残されました。それが、市民に高く評価され、今回4選を果たした大きな原動力になったのは間違いないと思います。その点については、私も高く評価する者の一人ですが、聖域なき行政改革だと言いながらも、今までは、一線を画して、決して踏み越えてはいらっしゃいませんでした。</p> <p>二元代表制をとっている、地方自治の下では、議員の定数は議会が決めるのが一般的だと思います。全国的に見ても、首長が選挙公約で、議員定数に触れたのは稀なことではないかと思います。全国の多くの首長は、議員の数が多い、報酬が高いと思っているようですが、聖域を侵してはいません。しかし、今回は、公約の大きな目玉に、市議会議員定数を半減するという公約を掲げ、選挙戦を戦われました。その結果は言うまでもなく、市民から支持されました。この公約を掲げた市長の思いと、選挙結果をどのように受け止めておられるのか伺います。</p> <p>②市民100人委員会の設置 ③NPO ボランティア団体等からの協働事業提案制度の創設 ④移動図書館（ブックモバイル）の開設 ⑤小学校給食は学校での給食調理を基本に更に充実に努める ⑥水道料金を4年間据え置く ⑦地産地消の促進に努める</p> <p>②～⑦の項目について、市長の思いを述べて頂きたいと思います。</p>

No.	6	大田 雄二郎
質問事項		要 旨
<p>1. 昨年7月21日の豪雨災害復旧・復興工事の進捗状況等について</p> <p>2. 被災者と市民に夢と希望と笑顔を</p> <p>3. 交通安全対策について</p>	<p>(1) 国、県、市が担当する災害復旧・復興工事の進捗状況と工程表について</p> <p>(2) 市が担当する農地・農業施設の復旧・復興工事の進捗状況と工程表について</p> <p>(1) 7月21日を防災の日とし、追悼式典を開催して、豪雨災害記録誌等の配布をする事と、来年からは防災訓練の日にする事について</p> <p>(2) 被災者の心のケアについても、市の担当職員が専門家と連携して行う事について</p> <p>(3) 被災住宅用地等に対する固定資産税の課税標準の特例（地方税法第349条の3の3）について</p> <p>(4) 被災地の地籍調査事業の取組について</p> <p>(1) 華城小学校から桑山中学校に至る通学路である市道三田尻西浦線の整備と交通安全対策について</p> <p>(2) 都市計画道路、市道天神前植松線の石が口二丁目から桑南一丁目までの早期完成について</p>	

No.	7	田中 敏靖		
質 問 事 項			要 旨	
<p>1. 防災について</p> <p>2. 庁内の団体事務局のあり方について</p> <p>3. 道路行政について</p>	<p>(1) 避難場所について</p> <p>①避難場所として不適な場所はないか ②避難場所の変更はないか</p> <p>(2) 危険箇所の把握状況について</p> <p>① 去年の豪雨後危険箇所の把握はどうなっているか ② 土のう等防災資材の事前配布はなぜしないのか</p> <p>(3) 住民に周知のための機器について</p> <p>①屋外拡声器にこだわりすぎだが、聞こえると思うか ②情報受信のためメール等の普及状況</p> <p>(1) 補助金交付団体の事務局について</p> <p>① 市職員が事務局の運営を行っている団体があるが、これでよいのか ② その団体から家賃等徴収しているか</p> <p>(2) 市職員の事務局運営は業務であるか</p> <p>(1) 既設電柱の建替の位置について</p> <p>① 水路のり面にはみ出しがあるがどのような見解か ② 建替の場所は自治会長等と協議しているか</p> <p>(2) 市道認定について</p>			

No.	8	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
<p>1. 防災、災害情報の提供について</p> <p>2. 健康支援について</p>	<p>(1) 防府メールサービスの活用について</p> <p>① 昨年の災害を教訓に、より多くの方に防災、災害情報を提供する必要がある。運用開始後9ヶ月、防災登録者の推移や、現在の取り組みは。</p> <p>(2) 災害時要援護者に対する避難勧告などの避難支援情報メール・ファックス・電話の活用について</p> <p>① 昨年の災害後の登録者の推移や、これまでの取り組みは。</p> <p>② あらゆる機会を通じて、必要とされている方へ登録の周知を図っては。</p> <p>(3) 希望する市内事業所へ登録制による情報伝達の方法を考えてみては。</p> <p>(1) 相談体制の充実について</p> <p>① 女性の健康支援のために、各健康セミナーや講演会等の際に相談・啓発コーナーを設置しては。</p> <p>② 近年増加しているうつ病などの心の病は、様々な要因が背景にあり、影響も大きいことから相談体制が重要。現状と今後の取り組みについて。</p>	

No.	9	山根 祐二		
質 問 事 項			要 旨	
<p>1. 雇用対策について</p> <p>2. 国の事業仕分けに関する本市の対応について</p>	<p>(1) 防府市の雇用の現状は、どのように認識しているか。</p> <p>(2) 今後、防府市に進出する予定の大型店舗、企業の情報は把握しているか。また、企業誘致活動は進めているか。</p> <p>(3) 本年度の雇用対策拡充事業として、緊急雇用創出事業と、ふるさと雇用再生事業があるが現在の進捗状況はどうか。</p> <p>(4) 離職者、長期失業者について、ハローワークと市との連携が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(5) 訓練生活支援給付金制度の利用状況はどうか。</p> <p>(1) 独立行政法人雇用・能力開発機構は、廃止するとの国の決定により、防府市田島の防府市地域職業訓練センターもその対象となり廃止されると聞いているが、国の方針や防府市の対応はどうか。</p>			

No.	10	原田 洋介
質問事項		要 旨
1. 防府市の活性化について		(1) 地域産業の振興について (2) 三田尻・中関港の活性化策について

No.	1 1	木村 一彦	
質 問 事 項			要 旨
1. 国民健康保険について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 国保料は、多くの世帯で収入の1割を超え負担の限界に達している。あらゆる手だてを尽くして引き下げるべき。 (2) 保険証のとりあげをやめるべき。 		
2. 口蹄疫対策について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 畜産農家の家畜の健康状態調査といち早い万全の封じ込め対策 (2) 畜産農家への経済的被害の実態調査と経営支援 (3) 必要な予算を対策経費として確保 		
3. 地産地消と学校給食について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地産地消と学校給食の位置づけについて (2) 学校給食での地場産品の使用状況、目標、それに向けての取り組みについて (3) 食農組織、生産・流通・販売組織、教育関係者消費者が参加する運動体の設置について 		

No.	1 2	重川 恭年	
質 問 事 項			要 旨
	1.	市長の行政姿勢について	(1) まちづくりに於ける具体的方策、指針について
	2.	文化行政の振興対策について	(1) 文化行政に於けるソフト面の充実について

No.	13	中林 堅造	
質 問 事 項			要 旨
1. 市長の四期目の行政運営について			<p>(1) 今回の選挙戦において、市長という職をかけて、市議定数半減、単独市政をつらぬくという公約で市長は戦われました。私も失礼ながら同じ公約で補欠選挙を戦わせていただきました。今回の選挙を振り返られて、市長として前人未踏の四期目を迎えられた思いと市民からの支持をどう受けとめられたのかをお聞かせください。</p>
2. 教育について			<p>(1) 義務教育期間における倫理・道徳教育のあり方について 防府市民の歌の徹底</p>
3. 国庁跡の活用について			<p>(1) 今一度遺跡を掘り起こし、市民に公開する予定は。</p>

No.	14	山本 久江	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 中小企業の振興について</p> <p>2. 障害者福祉施策について</p>	<p>(1) 景気悪化による厳しい経営状況が続く中、市の経済や暮らしを支え、牽引する役割をもつ中小企業に対する本格的な支援策が求められる。</p> <p>① 中小企業振興条例の改定について</p> <p>② 住宅リフォーム助成制度の創設について</p> <p>③ 市が発注する公共工事や業務委託に従事する労働者の適正な賃金を確保することを目的とした公契約条例の制定について</p> <p>(1) 障害者自立支援法「改正」に伴う影響について</p>		

No.	15	土井 章	
質 問 事 項			要 旨
1. 市長選挙について	<p>(1) 選挙公約について</p> <p>①市議定数半減、市長給与半減、退職金全廃で生じる財源1億5千万円。これを財源に、学校毎年1校建設ほか7項目が実現としているが、その数字的根拠と事業実施のタイムスケジュールを求める。</p> <p>(2) 選挙活動における発言について</p>		
2. 災害対策について	<p>(1) 昨年の豪雨災害の経験を基に、種々の対策が取られているが、</p> <p>①市広報の6月15日号⇒表紙、2Pの記事は、昨年と全く同じ。3Pの情報提供のお知らせが若干充実しただけ。昨年、問題があった避難所や無線ボランティア募集は削除されている。</p> <p>また、災害検証委員会⇒1/20、3/29と開催され、3回目は、6/16だった。次回は、7月開催の予定とのことだが、梅雨に間に合わない。</p> <p>果たして、昨年の災害の教訓は生かされているか。</p> <p>③ 緊急告知ラジオの今日現在の申し込み状況は。</p> <p>④ 市街地の雨水排水対策の推進について側溝の整備、都市水路の整備等々。</p>		
3. 公共下水道事業の在り方について	<p>(1) 人口減少の下、費用対効果から、公共下水道敷設⇒合併浄化槽への転換について</p> <p>(2) 負担金を徴収し、下水管敷設が遅れている地域対策について</p>		
4. 市長所信表明について			

No.	16	三原 昭治		
質 問 事 項			要 旨	
	<p>1. 豪雨災害の復興と防災対策の取り組みについて</p> <p>2. 雇用対策について</p>		<p>(1) 昨年7月21日に防府市を襲った豪雨災害から1年を迎えるが、復興状況は。また、市長が、今年を防災元年として位置づけ、安全・安心なまちづくりに取り組むとしたが、具体的にどのような防災対策の取り組みをしてきたのか。</p> <p>(2) リーマン・ブラザーズの経営破たんによる世界同時不況以降、特に雇用問題は厳しい環境下にある。そこで、「住みたくなる防府」の創造に向け、将来を担う若者たちが安心して働ける雇用の場の確保など、積極的な環境づくりが求められるが、市としての対応、対策は。</p>	

No.	17	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
1. 公会計改革について	<p>(1) 防府市の平成20年度財務書類4表について、どう自己評価しているか。</p> <p>(2) 他市と比較して、財務書類をどう分析しているか。</p> <p>(3) 今後の考え方について伺います。</p>		
2. 「市民100人委員会」について	<p>(1) どのような形で作られるのか。その概要を明らかにしてほしい。</p> <p>(2) 無作為抽出による市民参加手法「プランクスツェレ」を取り入れるべきではないか。</p>		
3. 小学校給食の食器選定・導入について	<p>(1) どのようなスケジュールで行うのか。一度の会議で決めたのか。</p> <p>(2) プラスチック食器は、安全上の問題があるのではないか。</p>		

No.	18	山下 和明		
質問事項			要 旨	
<p>1. 期日前投票について</p> <p>2. コミュニティバス導入について</p>	<p>(1) 本市で行う期日前投票所は、市役所4号館2階会議室の一箇所に集中させているが、近隣他市では期日前投票所を地域に分散し、会場も20箇所を超える市もあり、本市の期日前投票者数も増加している。 市民からも現状に即した期日前投票所を増やせないかといった声もあるがどうか。</p> <p>(1) 市長選挙の公約項目にコミュニティバス導入があるが、昨年の平成21年3月に「防府市生活交通活性化計画」を策定しているが、路線バスとの整合性についてはどうか。</p>			

